

平成28年 7月 1日

智頭町議会

議長 酒本 敏興 様

智頭町議会議員 高 橋 達 也

// 平 尾 節 世

// 谷 口 雅 人

// 徳 永 英太郎

// 石 谷 政 輝

// 大河原 昭 洋

議 員 派 遣 結 果 報 告 書

平成28年3月22日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1 派遣名 議会報告会

2 目的 智頭町議会基本条例第5条の規定に基づく議会報告会

3 派遣場所及び期間

- (1) 智頭町新見 225 番地 2 「富沢地区公民館」 平成28年5月18日
- (2) 智頭町大背 205 番地 「那岐地区公民館」 平成28年5月19日
- (3) 智頭町埴師 54 番地 「土師地区公民館」 平成28年5月20日

4 概要 別紙1～3のとおり

別紙 1

平成 28 年度 議会報告会結果概要（富沢地区）

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 18 日（水） 19：00～20：30
- 2 出席議員 高橋、平尾、谷口、徳永、石谷、大河原 6 人
- 3 参加者数 10 人（男 10 人、女 0 人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明後に意見交換

（1）質疑応答

問 畜産団地について

- ・ 昨年的一般質問の町長答弁で今年の 3 月末で廃止するとのことであったが、現状はどうなっているのか。

答 双方の代理人で調整中。（現時点では裁判には至っていない。）

問 議案に関係する議員の採決時の除斥について

- ・ 議員の役目が果たせないのではないか。

答 例えば、森林組合への補助金で関係する場合、森林組合の理事になっている議員は、公平を期すため採決に加わらないこととしている。

問 所属党派が無所属とされていることについて

- ・ 政党に所属している議員が多いと思われるが、なぜ無所属なのか。

答 政党に入党していても、立候補時に所属政党の公認を受けていないためである。

問 議員定数について

- ・ 人口が減少しているため、議員定数の見直しが必要ではないか。

答 議会で今後検討していくこととしているが、削減ありきの検討ではなく、委員会で適正な採決をするための人数を考慮する必要がある。

問 人口減少対策について

- ・ 職場の確保対策や隠岐の島へ視察して学んできたことを踏まえて、議会としてどう対応しようとしているのか。

答 光ケーブルを活用して事業を展開しようとする移住者が多いため、良い事例ととらえている。

問 智頭病院の産科について

- ・ 産科ができたのか。

答 できていないが、女性の相談サポート体制ができた。

問 移住者の適格判断について

- ・失業者や犯罪関係者が逃避的に移住を希望する場合もあるのではないか。面談時ほどどのように対応しているのか。警戒感をもつべきではないか。

答 居住の自由の権利があり、排除できないが、補助要件に適合するか否かは判断している。

問 平成28年度予算の鳥獣被害対策について

- ・捕獲奨励金だけの予算か。

答 メッシュなどの侵入防止対策費も含まれている。

問 ふるさと整備土木事業の地元負担金軽減について

- ・地元負担割合を1割にできないか。

答 補助率増は困難である。

問 環境を壊す公共工事の見直しについて

- ・川に魚がいなくなった。

答 昔のように自然とふれあえる環境整備が大切である。

(2) 要望・提案

土木・建築技術職員の養成について

- ・コンサル任せでの現場監理体制は経費面でも疑問。
- ・役所OBではなく、現場に精通した業者OBを活用すべきだ。

別紙2

平成28年度 議会報告会結果概要（那岐地区）

- 1 日 時 平成28年5月19日（木）19：00～20：30
- 2 出席議員 高橋、平尾、谷口、徳永、石谷、大河原 6人
- 3 参加者数 9人（男8人、女1人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明後に意見交換

（1）質疑応答

問 保育園の跡地利用について

- ・新保育園の建設後、現在の2園の跡地利用はどうするのか。

答 現時点では未定だが、有効活用できるようにしたい。

問 消防ポンプ車購入事業について

- ・ポンプ車だけか。車庫はないのか。

答 車庫はない。ポンプ車の他に小型ポンプ2台（大屋、尾見）がある。

問 地籍調査について

- ・進捗状況は他の町村に比べてどうか。
- ・調査後の課税は町全体が完了してからになるのか。

答 約35%の進捗で、他町村の進捗状況も様々であり、高いとも低いとも言えない。完了した地区から新しく課税されており、富沢地区は既に課税されている。

問 鳥獣被害防止事業について

- ・どのような内容か。

答 捕獲奨励金、進入防止柵、東部射撃場の再開経費などである。

問 ホンモノの農産物づくり推進事業について

- ・どのような内容か。

答 従来の内容に加え、早瀬で移住者が実施する自然栽培の推進が新規に計画されている。

問 防犯カメラについて

- ・犯罪防止のために必要だと思うが、町内の設置状況はどうか。

答 金融機関やコンビニなどに設置してあるが数は少ない。今年度は町予算で役場と駅前の2か所に設置される。防犯カメラではないが、道

路管理のため、国道や鳥取道などにもカメラが設置されている。

問 駅前道路整備について

・歩道の中に電柱があり早期整備が必要だ。

答 トスク前の歩道を整備中。水路は完成した。

問 おせっかいのまちづくり事業予算について

・どのような内容か。

答 標語の募集や幟旗の購入などである。

問 婚活の取り組みについて

・1組のカップルができた。県補助に向け働きかけてほしい。

答 総合戦略の事業で取り組まれる予定である。

問 地域おこし協力隊について

・何人おられるのか。

答 10数人である。

問 駅前の観光客対応について

・観光協会の場所が駅からみて目立たない。

・食事をする場所が少ない。地元の食材を提供して地元にお金が還元する工夫が必要だ。

答 ご指摘のとおりであり課題だ。

問 森のようちえん、サドベリースクールについて

・町内の人も入っているのか。町外の人が多いのか。

・サドベリーは土曜日に旧那岐小学校を使用しているが使い方が悪いし、親も注意しない。

答 町内の人もあるが多くは移住者だ。サドベリーについてはいろいろな意見や考えがあり、静観している状況だ。

問 生活困窮者関係の事業について

・どのような人が対象で、国の補助があるのか。

・どこが担当するのか。

答 生活保護に至る前の段階の人が対象で、国の補助がある。福祉事務所が担当する。

(2) 要望・提案

問 防災福祉マップづくり事業について

- ・ 県の補助事業が今年度で終了するが、町内全集落のうち約半数は未実施であり、事業の継続が必要ではないか。

答 議会も継続を要望している。

問 ウグイの生息復活について

- ・ 県の事業で琵琶湖から買ったウグイを放流した。3年計画で智頭、用瀬、佐治で実施される。ウグイは雑食性で河川環境のためにも良い。ジャブを復活したい。議会も応援してほしい。

問 LED防犯灯設置事業について

- ・ これまでどの程度設置されているのか。
- ・ 今年度で終了するが、継続すべきではないか。

答 これまでに181本、24集落で設置されている。1/2が地元負担のため実施が困難な集落もある。継続すべきと思っている。

問 居場所づくり事業について

- ・ 那岐地区にも立ち上げたいと思っているので支援してほしい。

別紙3

平成28年度 議会報告会結果概要（土師地区）

- 1 日 時 平成28年5月20日（金）19：00～20：40
- 2 出席議員 高橋、平尾、谷口、徳永、石谷、大河原 6人
- 3 参加者数 5人（男4人、女1人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明後に意見交換

(1) 質疑応答

問 大災害発生時の町の体制について

- ・東北震災、熊本震災が発生したが、本町でも山崎断層による大きな震災が発生した場合、職員の多くが町外から勤務しているため、町の体制が整わないのではないかと危惧している。

答 職員の募集で町内者が少ないという実態があることも要因。

問 議会報告会の参加の呼びかけ手法について

- ・参加者が少ない。告知端末放送やチラシ配布などの努力は認めるが、あまり効果がない。チラシも他のチラシなどが多くあるので面倒で見ない人もいる。部落世話人や地区協会長へ文書を出しているのか。

答 去年はチラシを配布できなかったのが世話人に文書を出したが、今年にはチラシを全戸配布したので出していない。今後は世話人等へ文書を出すようにしたい。

問 智頭町の土産品と買う場所の不足について

- ・女性の来町者から、土産を買う場所がないということを知る。女性は菓子類に人気があるが良い土産がない。

答 智頭に行ったということがわかる土産がほしいということだと思う。特産品の開発は民間がしてほしいが至っていない。宿泊・昼食・土産の場所不足が本町の課題だ。

問 農業委員会の実情把握について

- ・農業委員会の組織改革が行われるが、議員はどこまで承知しているのか。例えば、報酬の額では、本町は県内で2番目の低さだ。議員報酬は県下の何番目か。他の町村と比較して調査研究することも議会の仕事ではないか。

答 （次の質問に移ったため回答せず）

問 防火水槽の計画について

- ・どのような内容の場合に計画されるのか不明だが、役場に陳情に出た際、防災計画の基準のことを言われた。

答 (次の質問に移ったため回答せず)

問 震災に強いまちづくり推進事業について

- ・どのような内容か。

答 耐震診断、改修設計、耐震改修の補助である。

問 国際交流事業について

- ・今も楊口郡だけとの交流なのか。
- ・楊口郡がいけないという訳ではないが、もう少し視野を広げてみることも必要ではないか。

答 現在も楊口郡との交流を継続しているが、その都度に対象者が異なっているため、継続の意味はある。

問 図書館事業について

- ・2,800万円の内容は。購入図書は複数冊か。県は5冊買う。

答 維持管理費で昨年度とほぼ同額。すべてが1冊の購入ではない。

問 図書館新設について

- ・どのような図書館になるのか。

答 検討委員会が教育委員会へ答申し、町で検討中の段階。

問 人口減少対策について

- ・林業、農業を軸としただけでは安定した住民生活ができない。
- ・立地に見合った企業誘致が必要。

答 産業構造が変わったことが要因。企業側には智頭に来た場合、人材が揃うのかという危惧がある。

問 おせっかいのまちづくり事業予算について

- ・どのような内容か。

答 標語の募集や幟旗の購入などである。

問 黒尾峠のチコの跡地利用について

・何も計画がないのか。

答 民有地でもあり、現時点では不明。

(2) 要望・提案

問 独居老人宅の巡回体制について

・以前にもこの報告会で提起したが、町職員が担当区域を決めて巡回すべきと考える。住民任せではなく、町職員自らが汗をかくことに意義がある。

答 指摘は受け止めたい。改善の余地ありとは感じる。

問 砂防工事の要望について

・崩れかけている法面があるが官地となっている。官側で災害防止策を講じるべきだ。

答 現地を確認しに行く。

問 奥地森林からの伐採木搬出について

・作業道がある場所は良いが、奥地への対応が課題だ。

答 土師地区では、慶所から大背あたりまでの間と線路から向こう（西側）の山の手入れが進んでいない。全町的な課題であり、持ち帰って検討する。

問 役場の全集落回りにについて

・以前に1回行ったが、もう行わないのか。

・行政が決めることという意識でなく、議員が町の監査委員となっているので、議員も声を出す役目がある。

答 持ち帰る。